

府 民 意 見 に 対 す る 府 の 見 解

【府営住宅建替事業】

府 民 意 見 末尾の()は意見書番号	府 の 見 解
<p>府営住宅の建替は見直しすべきと思う。人口が将来的に減少するのに、建替は見直しすべき。また、民間が整備しているのを見直してほしい。(1)</p>	<p>大阪府においては、これからの住宅・まちづくりは、市場により達成可能なものについては、民間の諸活動によることを基本とし、行政は特に市場だけでは適切なサービスが享受できない低所得者・高齢者等に対するセイフティネット（社会的安全網）の整備などに配慮した取り組みを実施することとしている。</p> <p>また、大阪府の人口は平成 12 年度をピークに減少するが、世帯数は平成 22 年度まで微増を続け、また、高齢者世帯は今後も急増し、平成 12 年度に約 74.6 万世帯であったのが、平成 32 年度には約 128.2 万世帯になると推計されている。</p> <p>よって、公営住宅は、民間賃貸住宅市場における弱者である高齢者世帯をはじめ、府民の居住におけるセイフティネットとしての役割が求められている。</p> <p>府営住宅においては、「大阪府府営住宅ストック総合活用計画」（平成 14 年 2 月策定）に基づき、「原則として新たな供給は行わず、これまで蓄積してきた府営住宅ストックを有効活用する」こととし、老朽化が著しく、居住水準が低い木造住宅、簡易耐火住宅、昭和 20・30 年代の中層耐火住宅を中心に建替えを進めていくこととしている。</p>